

福井工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	歴史学特講	
科目基礎情報							
科目番号	0003		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	機械工学科		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材							
担当教員	手嶋 泰伸						
到達目標							
近現代史の概略を説明し、その知識でもって現代的な諸問題を考察することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	予習をもとにして授業中に発言できる		適切に予習を行なうことができる		予習を行っていない		
評価項目2	授業の内容を極めて優れてまとめることができる		授業の内容を適切にまとめることができる		授業の内容をまとめることができない		
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	①現代社会の形成過程と特徴を歴史的に理解し、説明することができる。 ②歴史的事象の暗記ではなく、科学的に歴史を通じて思考することができる。						
授業の進め方・方法	現在の我々の社会は、歴史によって作られたものである。この講義では、我々が当たり前にとっているものの考え方が明治維新後にどのように形作られ、そうした近代的な制度や思考様式がどのように日本を戦争へと向かわせていったのかをみていく。その後、そうした戦前の社会・政治状況のうち、何が変化し、何が変化しなかったのかということから出発し、現在の我々の社会・政治状況が成立していった過程をみていくことで、明治維新から現在に至るまでの歴史を概観しつつ、そうした歴史によって形成されている「現在」について、より深く理解していく。						
注意点	定期試験は行わず、課題で評価する。すべての課題を提出しなければ合格とはならない。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス				
		2週	日本の近代化① 近代的政治意識の獲得			近代的政治意識の獲得過程を説明できる	
		3週	日本の近代化② 近代人をつくるもの			戦前の軍隊と教育制度について説明できる	
		4週	日本の近代化③ 近代的自我とイ工意識			近代的自我とイ工意識について説明できる	
		5週	日本の近代化④ 帝国憲法体制と天皇制・議会制・官僚制			帝国憲法体制について説明できる	
		6週	日本の近代化⑤ 近代日本の政治体制論			天皇主権説・天皇機関説・民本主義について説明できる	
		7週	日本の近代化⑥ 近代日本の「デモクラシー」			近代日本の「デモクラシー」について説明できる	
		8週	中間まとめ 日本の近代化を考える				
	2ndQ	9週	近代日本と戦争① 帝国主義と戦争違法化体制			戦争違法化体制の形成過程と欠点について説明できる	
		10週	近代日本と戦争② 軍部の政治的台頭			1930年代における軍部の政治的台頭過程について説明できる	
		11週	近代日本と戦争③ アジア・太平洋戦争の開戦と終戦			アジア・太平洋戦争の開戦・終戦過程について説明できる	
		12週	現代日本の形成① 戦後日本の社会・経済と福祉国家化			戦時・戦後の連続・断絶論を整理できる	
		13週	現代日本の形成② 戦後改革と55年体制			55年体制について説明できる	
		14週	現代日本の形成③ 現代社会の歴史的位置			内閣機能の強化とグローバル経済について説明できる	
		15週	総括				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0